

(単位: mm)

7.設定方法

■発光モードの選択

本製品は、下記（１）～（３）の３通りの発光モードを有します。ご使用条件に応じ選択して下さい

- （１）常時発光モード（CONTモード）：本製品にDC24Vの電源電圧を供給している期間中、常時発光します
- （２）外部トリガ発光モード（TRIGモード）：外部トリガ入力（信号名：TRIG1、TRIG2）に応じて発光します
- （３）ストロボ発光モード（STBモード）：外部トリガ入力（信号名：TRIG1、TRIG2）に応じてTRIGモードの２倍以上の明るさで発光します

■各モードの発光条件設定

（１）常時発光モード（CONTモード）

- ・モード切替スイッチを『CONT』位置にすると常時発光モードになります



- ・照明の明るさ（調光レベル）の設定
操作キーでデジタル表示の値を増減することで調整ができます。
調整可能範囲は1～399、ALLの400段階になります
数値が大きいくほど明るく発光し、ALLで最大となります

- ・操作キーの役割
▲（UP）キー：値を大きくします。
長押しで更新スピードが速くなります
▼（DOWN）キー：値を小さくします。
長押しで更新スピードが速くなります
◀（LEFT）キー：設定桁を左に移動します
▶（RIGHT）キー：設定桁を右に移動します



【重要】

- ・値決定後、５秒間キー入力がない状態が継続すると、デジタル表示値を「ユーザ様が設定したい値」と判断してオートセーブします

2CH→1CHに切替えた場合の表示	1CH
1CH→2CHに切替えた場合の表示	2CH

（２）外部トリガ発光モード（TRIGモード）

- ・モード切替スイッチを『TRIG』位置にするとトリガ発光モードになります



- ・照明の明るさ（調光レベル）の設定
操作キーでデジタル表示の値を増減することで調整ができます。
調整可能範囲は1～399、ALLの400段階になります
数値が大きいくほど明るく発光し、ALLで最大となります

- ・操作キーの役割
▲（UP）キー：値を大きくします。
長押しで更新スピードが速くなります
▼（DOWN）キー：値を小さくします。
長押しで更新スピードが速くなります
◀（LEFT）キー：設定桁を左に移動します
▶（RIGHT）キー：設定桁を右に移動します



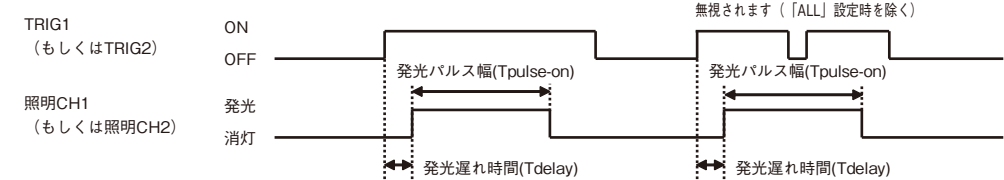
【重要】

- ・値決定後、５秒間キー入力がない状態が継続すると、デジタル表示値を「ユーザ様が設定したい値」と判断してオートセーブします

2CH→1CHに切替えた場合の表示	1CH
1CH→2CHに切替えた場合の表示	2CH

・発光タイミングチャート（TRIGモード）

外部トリガ入力（信号名：TRIG1、TRIG2）に応じ、下記の通り発光します



- ・発光遅れ時間：0ms～999msの範囲で、1ms刻みで設定可能。初期値は0msです。（＊）
- ・発光パルス幅：TRIG1（もしくはTRIG2）入力期間中常時点灯する「ALL」設定か、もしくは0.1ms～99.9msの範囲で時間設定が可能です
初期値は「ALL」です（＊）
- （＊）発光遅れ時間および発光パルス幅の設定はセットモードで行います。以降に設定手順①～③を示します

【注意】

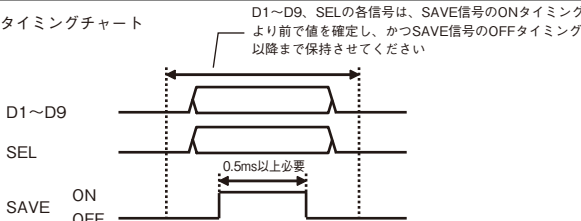
上記発光タイミング以外にも、電源投入直後の起動時およびモード切替スイッチ位置をCONT⇒TRIG、SET⇒TRIGに切り替えた直後にも、一瞬LEDが点灯しますので、直視されないようにご注意ください。

9.パラレル入力による調光レベルの設定方法

パラレルコネクタの入力信号を用いることで、接続機器からリモートで下記(1)、(2)の設定が可能です。

- （１）常時発光（CONT）モード時および外部トリガ発光（TRIG）モード時…調光レベル
- （２）ストロボ発光（STB）モード時…ストロボ発光期間設定に使用する信号と手順は、下記の通りです。
・D1～D9の9ビットでバイナリデータを入力
・SELでCHを選択
・SAVE信号をONすると、データを確定し、更新する

・タイミングチャート



ピンNo.	信号名	信号の方向	機能
DI1	D1	入力	調光データ1bit目（最下桁）
DI2	D2	入力	調光データ2bit目
DI3	D3	入力	調光データ3bit目
DI4	D4	入力	調光データ4bit目
DI5	D5	入力	調光データ5bit目
DI6	D6	入力	調光データ6bit目
DI7	D7	入力	調光データ7bit目
DI8	D8	入力	調光データ8bit目
DI9	D9	入力	調光データ9bit目（最上桁）
DI11	SEL	入力	調光CH選択入力（OFF：CH1、ON：CH2）
DI12	SAVE	入力	メモリ機能「ON」設定時：調光データを内蔵メモリに保存します。（電源OFF→再ON時も最新データを保持します。） メモリ機能「OFF」設定時：調光データを内蔵メモリに保存しません。（電源OFFすると前回保存データを保持します。） メモリ機能「ON」「OFF」の詳細・設定方法は先述『7. 設定方法』をご参照下さい。

【重要】

- ・調光レベル設定時は、必ず上記タイミングチャートの条件通りに各信号を入力してください。条件を満たしていない場合、正しく設定されません。
- ・TRIG1/TRIG2入力ON中は、調光レベルが正しく設定されない場合があります。TRIG1/TRIG2入力OFF中に設定してください。

11.エラーメッセージ

本製品のデジタル表示に出力されるエラーメッセージとその処置について記載します

エラー表示（デジタル）	エラーの原因	エラー時の動作	復帰方法
Er1	照明CH1に過電流が流れています	・照明への電圧出力を停止 ・エラー出力(パラレルコネクタ ピンNo.：Do1、信号名：ERR)をON	・一旦電源を切り、接続状態の確認（本製品に適合した照明を接続しているか、接続状態に異常はないか）の上で電源を再起動してください ※本製品に適合した照明を接続しており、接続状態に問題ないにもかかわらずエラーが解消されない場合、照明もしくは本製品の故障が考えられます
Er2	照明CH2に過電流が流れています	・照明への電圧出力を停止 ・エラー出力(パラレルコネクタ ピンNo.：Do1、信号名：ERR)をON	
Er3	照明CH1、CH2の両方に過電流が流れています	・照明への電圧出力を停止 ・エラー出力(パラレルコネクタ ピンNo.：Do1、信号名：ERR)をON	
Er4	パラレル入力による調光データのライトエラーです	・照明への電圧出力を停止 ・エラー出力(パラレルコネクタ ピンNo.：Do1、信号名：ERR)をON	・エラー出力解除(パラレルコネクタ ピンNo.：DI10、信号名：CLR)を入力してください ※エラー解除の後、正しいパラレル調光データを再入力してください
Er5	照明CH1が未接続です	・照明への電圧出力を停止 ・エラー出力(パラレルコネクタ ピンNo.：Do1、信号名：ERR)をON	・一旦電源を切り、本製品に適合した照明を正しく接続の上、電源を再起動してください
Er6	照明CH1、CH2両方が未接続です	・照明への電圧出力を停止 ・エラー出力(パラレルコネクタ ピンNo.：Do1、信号名：ERR)をON	・一旦電源を切り、本製品に適合した照明を正しく接続の上、電源を再起動してください
Er7	外部入力電圧が定格（26.4V）を超過	・照明への電圧出力を停止 ・エラー出力(パラレルコネクタ ピンNo.：Do1、信号名：ERR)をON	・一旦電源を切り、適正な電圧の外部電源を準備の上、電源を再起動してください

- ① モード切替スイッチを『SET』の位置にする



- ② 下記操作フローに沿って設定する



- ③ 設定完了後、モード切替スイッチを「TRIG」の位置に戻すと、外部トリガ発光モードで動作を開始する



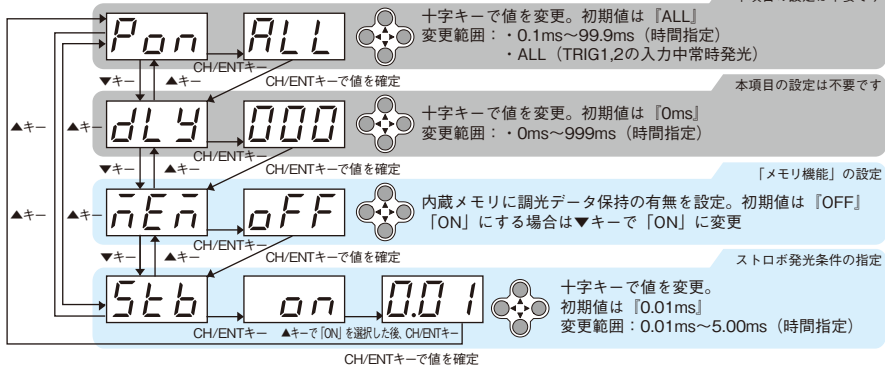
- （３）ストロボ発光モード（STBモード）

- ・下記手順①～③に従い設定するとストロボ発光モードになります

- ① モード切替スイッチを『SET』の位置にする



- ② 下記操作フローに沿って設定する



- ③ 設定完了後、モード切替スイッチを『TRIG』の位置に戻すと、ストロボ発光モードで動作を開始する（＊）



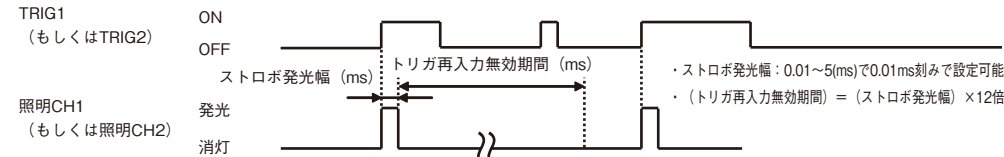
- ・設定対象CHの切替
CH/ENTキーを押下する毎に、有効CHがCH1⇔2間で交互に切り替わります（＊）
（＊）CH/ENTを押した直後から１秒間、切替後のCHをデジタル表示するので、これを確認することで有効CHが確認可能です

CH/ENT

2CH→1CHに切替えた場合の表示	1CH
1CH→2CHに切替えた場合の表示	2CH

CH1もしくはCH2の一方をSTBモードに設定すると他方のCHも自動的にSTBモードに設定されます。CHの一方のみSTBモード、他方をTRIGモードとする設定は行えません。

- ・発光タイミングチャート（STGモード）
外部トリガ入力（信号名：TRIG1、TRIG2）に応じ、下記の通り発光します



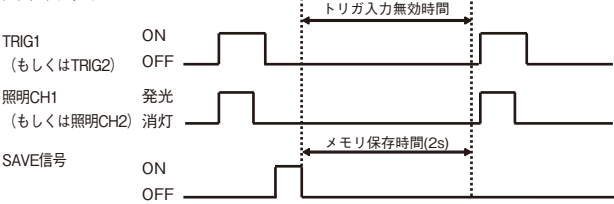
- ・ストロボ発光幅：0.01～5(ms)で0.01ms刻みで設定可能
・（トリガ再入力無効期間）＝（ストロボ発光幅）×12倍

8.メモリ機能について

本機能は外部制御時のみ適用されます。

- ・「ON」設定時：調光データを内蔵メモリに保存します。
電源OFF→再ON時も最新データ保持します。
なお、メモリ保存には2秒必要ですので、「SAVE」信号入力後、TRIG信号の入力は2秒以上の時間をとってください。
・「OFF」設定時：調光データを内蔵メモリに保存しません。
電源OFFすると前回保存状態に戻ります。

・タイミングチャート

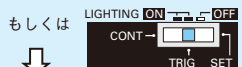
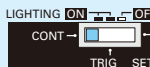


10.キーロック機能について

■キーロックの設定

モード切替スイッチが「CONT」もしくは「TRIG」の状態、CH/ENTキーを５秒間押し続けると、キーロックの状態になります。

キーロックの状態では、CH/ENTキー押下によるデジタル表示対象CHの切替えのみ有効で、それ以外の一切のキー入力を受付なく出来ます。



CH/ENTキーを５秒間長押しでキーロック有効



右端にドットが点灯するとキーロックの状態です

■キーロックの解除

キーロック有効の状態、CH/ENTキーを５秒間押し続けると、キーロックを解除します。



キーロック有効の状態、CH/ENTキーを５秒間長押しでキーロック解除



右端のドットが消灯します

ご承諾事項

当社商品は、一般工業製品向けの汎用品として設計製造されています。従いまして、次に掲げる用途での使用を意図しておらず、お客様が当社商品をこれらの用途に使用される際には、当社は当社商品に対して一切保証をいたしません。ただし、次に掲げる用途であっても当社の意図した特別な商品用途の場合や特別の合意がある場合は除きます。
(a) 高い安全性が必要とされる用途(例:原子力制御設備、燃焼設備、航空・宇宙設備、鉄道設備、昇降設備、娯楽設備、医用機器、安全装置、その他生命・身体に危険が及ぶる用途)
(b) 高い信頼性が必要な用途(例:ガス・水道・電気等の供給システム、24時間連続運転システム、決済システムほか権利・財産を取扱う用途など)
(c) 厳しい条件または環境での用途(例:屋外に設置する設備、化学的汚染を被る設備、電磁的妨害を被る設備、振動・衝撃を受ける設備など)
(d) カタログ等に記載のない条件や環境での用途

*(a)から(d)に記載されている他、本カタログ等記載の商品は自動車（二輪車含む、以下同）向けではありません。自動車に搭載する用途には利用しないで下さい。自動車搭載用品については当社営業担当者にご相談ください。
*上記は適合用途の条件の一部です。当社のベスト、総合カタログ、データシート等最新版のカタログ、マニュアルに記載の保証・免責事項の内容をよく読んでご利用ください。

オムロン株式会社 インダストリアルオートメーションビジネスカンパニー

●製品に関するお問い合わせ先
お客様相談室
フリーダイヤル 0120-919-066
電話番号: 055-982-5015 (通話料がかかります)
●営業時間: 8:00～21:00 ●営業日: 365日
●FAXやWebページでもお問い合わせいただけます。
FAX 055-982-5051 / www.fa.omron.co.jp
●その他のお問い合わせ
納期・価格・サンプル・仕様書は貴社のお取引先、または貴社担当オムロン販売員にご相談ください。
オムロン制御機器販売店やオムロン販売拠点は、Webページでご案内しています。

A(V) 2014年7月